

研究雑話

フランスの障害者教育・福祉事情(五)..
労働援護センター(CAT)の職員構成と作業種目

藤井力夫

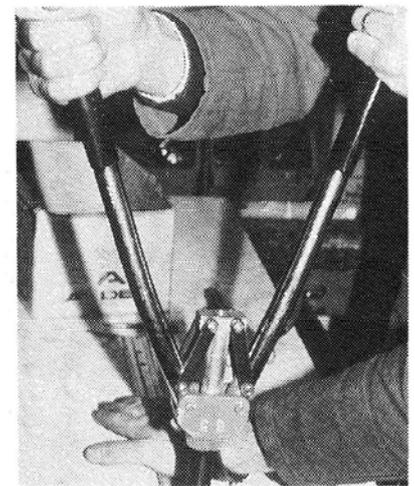
前回は最低賃金の保障の実際と一九八七年の改正による法定雇用実現の具体策についてお話ししました。障害労働者の稼得能力を基本給として、不足分を国が補填することにより最低賃金を保障しようとするものでした。調査した労働援護センターにおける実際の賃金一覧をお見せしました。最低賃金(当時日本円で約十一万円、一九八五年)の七〇%を保障されている人を例にとれば、彼自身の実際の稼得能力は月あたり六五〇フランで、日本円にして約一万六千円ということ。月あたりの実稼得、一万六千円。この実稼得は障害の程度だけでは計れません。安定した効率のよい仕事であれば障害の重い人でも可能です。一九八七年、法定雇用義務一〇%を六%に下げたかわりに、実質的な方を強化したのもこの側面を考慮したものと思われま。企業は障害者を採用すべく職種開発することが基本ですが、法定雇用義務六%を達成できない場合、その分労働援助施設に下請けに出すこと。これを強化したのでした。これにより安定した仕事を得ることができるよう。表Bは、調査に入ったもう一つの労働援助センター、ポーベの親の会が経営するCATの作業種目と年間収入です。一九七五年法に基づいて、一九七七年一月、土地と建物は市の提供で、工業団地の一角に建てられた施設(男七二名、女六七名、

表B. 作業種目・内容と年間収入(単位、千フラン)
C. A. T., "LES ATELIERS DU THERAIN", BEAUVAIS, 1984

1. 下請け作業	: 自動車スキー固定装置、ネジ穴開け等。	896	(53%)
2. 箱詰め作業	: 水道部品等の箱詰め荷造り作業。	122	(7%)
3. 木工作業	: 桶や木製の小物づくりなど。	116	(7%)
4. 園庭芝刈作業	: 鉢植えなどの芝刈作業。	296	(18%)
5. クリーニング	: シーツなどの洗濯とプレス。	161	(10%)
6. 掃除請負	: 町の寮の掃除(年間契約)。	84	(5%)
7. 療育班	: 張り絵やステンダグラの小物づくり。		
		計	1675 千フラン

* 各作業班20人程度。男72、女67、計139名。平均年齢男30、女28歳
* 年間労働時間1人当たり平均1543時間。1日6時間として約257日間。

計一三九名)です。表をよく見て下さい。年間収入の半分以上五三%は下請け作業班の仕事です。自動車につけるスキー板固定装置でネジ穴をあけたり、組み立てたりする仕事(写真)。同じ工業団地内の企業から仕事をまわしてもらっているのです。その他、園庭芝刈作業班は市の公園などの仕事が多いようですし、掃除請負班は青年寮との契約です。安定した仕事を導入できる仕組みが理解できます。かといって、仕事に追いまくられていられるわけではありません。一人一時間あたりの稼得は当時で七、八



フラン、日本円にして二百円弱。また、午後二時間はスポーツや遊びにあてられます。表Aを見て下さい。

表A. 職員構成

所長	男	1	人
事務部長	女	1	
経理部長	女	1	
経理補佐	女	1	
ボーイ	女	1	
ボイラ	男	1	
医務部長	男	1	
精神科	男	1	
一般診療	男	1	
心療	男	1	
看護	女	1	
ボツ	男	1	
指導員	男	1	
作業指導員	男	1	
工場指導員	男	2	
作業指導員	女	4	
学校教員	女	1	
特殊教員	女	1	
計		19	
合計		31	

さい。この施設の職員構成。それぞれ資格をとって就職した人か、二年間の現任研修(三二〇時間程度)を受けた人たちです。講義内容は「生産の技術的経済的管理」、「労働組織」、「障害者の労働条件の整備」、「表現能力の発達」など。資格試験で成り立つフランスの一面を表現。工場長や施設長はさらに一年程度の研修と論文の提出が求められます。医療部門も充実。精神科医の配置は同じく親の会が経営する養護学校との兼務で可能。ケースワークを担当する心理学、さらにスポーツ指導員を配置、興味深い。

(北海道教育大学助教)